

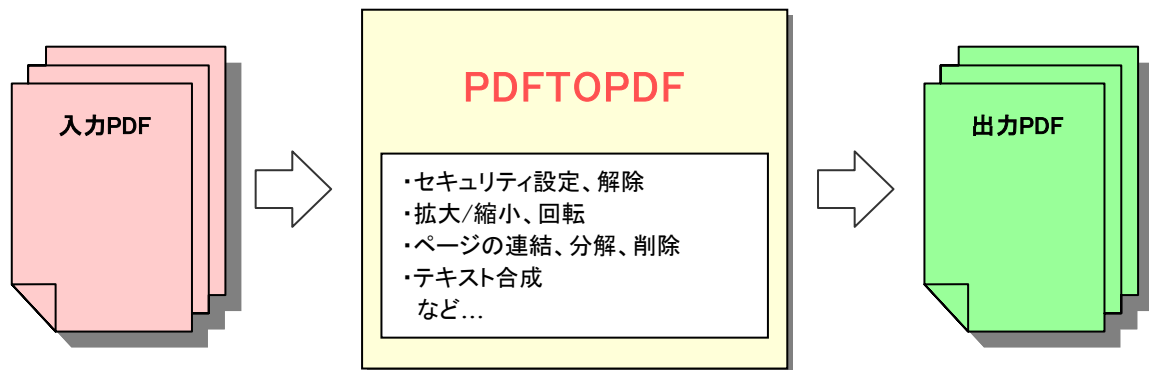
KDprintコンバート **PDFTOPDF**

PDFデータ編集プログラム



Kernel Computer System
カーネルコンピュータシステム株式会社

本社: パッケージ販売部
〒221-0056
横浜市神奈川区金港町6-3横浜金港町ビル
TEL: 045-442-0500 FAX: 045-442-0501
URL: <http://www.kernelcomputer.co.jp>



PDFTOPDFは、入力したPDFデータに対して編集を行い、新規にPDFファイルを作成します。
また、PDFのページ数や各ページのサイズ、文書中のテキストなど、PDFの情報を取り出すことが可能です。
Adobe Acrobatを使用しないため**Adobeライセンスが必要ありません**。

特長

- ・ Adobeライセンス不要。
- ・ 編集機能によりグラフィックの品質が下がらない。
- ・ 多重起動対応。
- ・ セキュリティの設定、解除。
- ・ パスワードを入力することで、セキュリティの設定されたPDFを直接編集することが可能。
- ・ 用紙サイズの拡大、縮小、回転。
- ・ ページの連結、分解、削除。複数のPDFから、ページを結合して1つのPDFへ変換可能。
- ・ テキストの合成。任意の文字列と日付・ページ番号・ファイル名を合成可能。
- ・ テキスト情報の抽出。各テキストの座標を取得することも可能。
- ・ イメージの合成。
- ・ イメージ、イメージ情報の抽出。
- ・ しおりや添付ファイルの設定。
- ・ その他の情報や添付ファイルの取り出し。

動作環境

- ・ Windows 2000 / XP / Server 2003 / Vista / Server 2008 / 7
- ・ UNIX(Solaris 2.5.1以降, HP-UX 11i V2以降, AIX 4.1.5以降)
- ・ Linux(RedHat 8.0以降)

標準価格

製品名	価格(税抜き)
PDFTOPDF	25万円

制限事項

(A) 入力するPDFファイルの制限事項

次のPDFファイルは入力ファイルとして指定できません。

- ・ 電子署名の付与されたPDF
- ・ PDFポートフォリオ
- ・ PDF 1.7 Adobe Extension Level 8以降のバージョン

(B) 出力するPDFファイルの機能

次のPDFの機能は、出力ファイルで有効となりません。

- ・ Cross-Reference Streamを使用した圧縮
- ・ 論理構造

(C) 抽出するイメージの圧縮形式

次の圧縮形式が使用されているイメージは、PDFから抽出することができません。

- ・ JPXDecode(JPEG 2000)のうち拡張機能が使用されているもの
- ・ JBIG2Decode(JBIG2)

操作方法

PDFTOPDFは、コマンドラインアプリケーションです。通常のコマンドと同じように、コマンドラインから実行したり、バッチファイルやシェルスクリプトに組み込んだりすることができます。

ここでは、直接コマンドラインから入力して実行する場合の、基本的な操作手順を示します (Windowsの場合は、「コマンドプロンプト」でDOSウィンドウを開いて、その中で実行してください)。

変換を実行するには、次のような形式でコマンドラインに入力します。

```
PDFTOPDF 変換前のファイル名 -0変換後のファイル名
```

-0は、マイナス記号とアルファベットの「オー」です。大文字でも小文字でもかまいませんが、全角文字は使えません。また、-0と変換後のファイル名の間には空白を入れないようにします。変換前のファイル名と変換後のファイル名に同じものを指定することはできません。

たとえば、abc.pdfをdef.pdfに変換するには、次のように入力します(下線部が、入力する部分です)。

```
> PDFTOPDF abc.pdf -0def.pdf
```

正常に変換できた場合は、次のように表示されて終了し、リターンコード0が返されます。

```
PDFTOPDF変換終了
```

エラーの場合は、次のように表示されて終了し、リターンコードとして0以外の値が返されます。

```
PDFTOPDF変換エラー
```

この他にオプションを追加することで、各編集機能を使用できます。

実行時のオプション

PDFTOPDFには、変換時に指定できる様々な実行オプションが用意されています。

- ・ 実行オプションは、「-」で始まります。実行オプションには、大文字/小文字の区別はありません。
- ・ パラメータがある場合は、空白を開けずにオプションの直後に指定します。

(例) オプションが「-O」、パラメータが「file」の場合:

(正) -Ofile

(誤) -O file

- ・ 複数のオプションを同時に指定するときは、それらを空白で区切ります。指定する順番は、一部のオプションを除き、処理の内容には影響しません。

(例) 次の2つは同じ意味になります:

(a) -R90 -MX

(b) -MX -R90

◇ 入出力ファイル指定に関するもの

-O[filename] : 変換結果を出力するファイル名を指定します。
たとえば、「-Otest.pdf」と入力すると、test.pdfに出力データが得られます。

-U[in_atr_name] : 入力属性ファイル名を指定します。(初期値: pdf_in.atr)

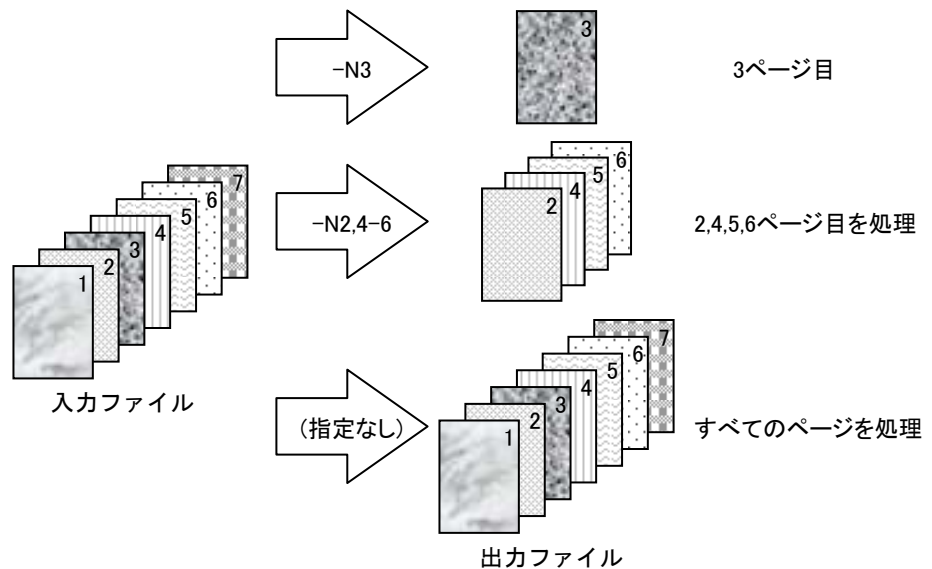
-Z[out_atr_name] : 出力属性ファイル名を指定します。(初期値: pdf_out.atr)

◇ マルチページ処理に関するもの

-N[page] : 入力がマルチページファイルの場合、処理するページを指定します。
次のような形式で任意のページを指定することができます。

- N0 : 全ページを処理(初期値)
- N3 : 3ページ目のみ処理
- N3-5 : 3ページ目から5ページ目まで処理
- N-5 : 1ページ目から5ページ目まで処理
- N5- : 5ページ目から最終ページまで処理
- N3,5 : 3ページ目と5ページ目の処理

(例)



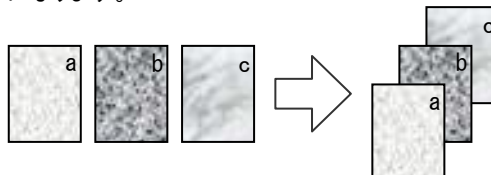
-M

: 出力ファイルとして既存のファイルを指定すると、出力ファイルの最後に新しいページとして追加します。

(例)

```
PDFTOPDF a.pdf -0m.pdf
PDFTOPDF b.pdf -0m.pdf -M
PDFTOPDF c.pdf -0m.pdf -M
```

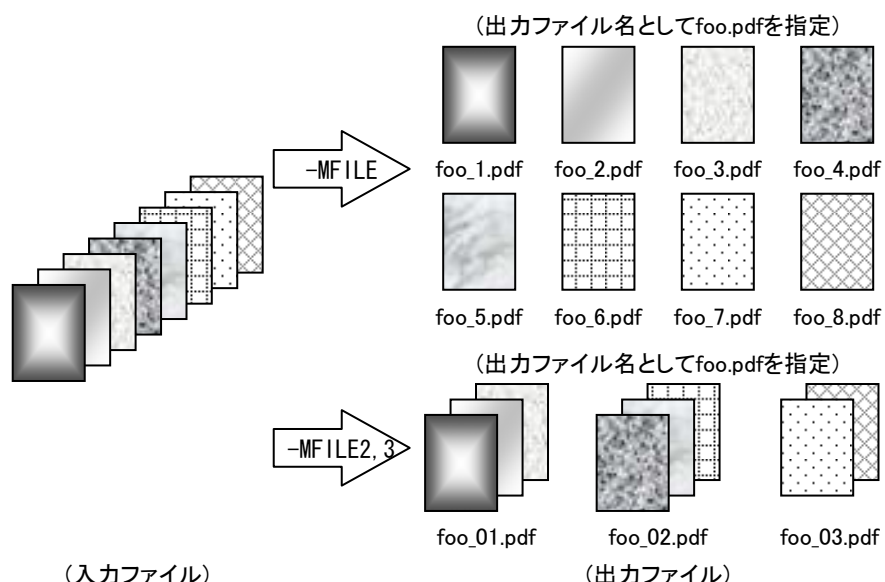
以上の操作で3ファイル(a.pdf, b.pdf, c.pdf)が1つのマルチページファイル(m.pdf)になります。



-MFILE[cols,pages]

: 入力がマルチページファイルの場合、指定されたページ数ごとに分割して出力します。各出力ファイル名は、指定した出力ファイル名に番号を付加したのになります。colsにはファイル番号の桁数を、pagesには分割するページ数を指定してください。

(例)



[infile1] [infile2]

: 入力ファイルを2つ指定すると、指定された順に2つのPDFファイルを結合します。

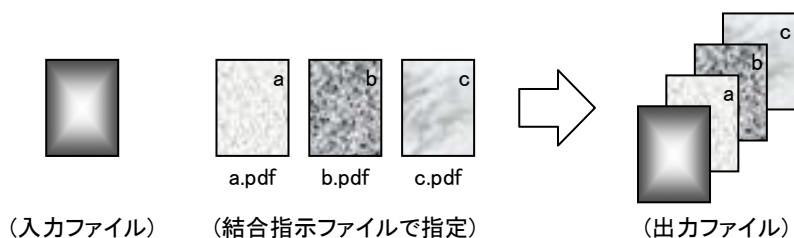
-INSERT[page]

: 2つ目の入力ファイルを挿入する位置を指定します。

-MG_LIST[list_file]

: 複数ファイルの結合を行います。list_fileは、結合するファイルの情報を記述したファイル(結合指示ファイル)のファイル名です。

(例)



-REVP

: ページの順番を逆順に並べ替えます。

◇ 拡大・縮小・回転などに関するもの

- A : 指定した出力サイズに収まるような最大サイズに、縦横比を維持してスケーリングします。出力サイズは、用紙サイズの番号(-P)、1/100ミリ単位の長さ(-W、-H)のいずれか、または複数を組み合わせて指定します。
- AJ : 指定した出力サイズより大きい場合のみ、そのサイズに収まるように、-Aオプションと同様の処理によって縮小します。サイズの指定方法は-Aオプションの場合と同じです。
- W[width] : 出力水平方向の長さを、1/100mm単位の値(mm単位の値を100倍したもので)指定します。
- H[height] : 出力垂直方向の長さを、1/100mm単位の値(mm単位の値を100倍したもので)指定します。
- S[scale] : スケール値を指定します。次の指定と等価です。
-SX[scale] -SY[scale]
- SX[scale_x] : 水平方向のスケール値を指定します。1.0以外の値を指定すると、水平方向のスケーリング処理が行われます。
- SY[scale_y] : 垂直方向のスケール値を指定します。1.0以外の値を指定すると、垂直方向のスケーリング処理が行われます。
- X[xoff] : 水平方向のオフセット量を、1/100mm単位の値で指定します。
- Y[yoff] : 垂直方向のオフセット量を、1/100mm単位の値で指定します。
- R[degrees] : イメージデータの回転(単位:度)
90: 90度回転 180: 180度回転 270: 270度回転
- RC[direction] : 出力時のイメージデータの向きが、入力データの向き(縦/横)にかかわらず一定方向になるように、自動的に回転します。directionの値は、次の意味を持ちます。
0: 入力データが横図面なら左に90度回転、縦図面なら回転しない。
1: 入力データが横図面なら右に90度回転、縦図面なら回転しない。
2: 入力データが縦図面なら左に90度回転、横図面なら回転しない。
3: 入力データが縦図面なら右に90度回転、横図面なら回転しない。
- MX : X軸ミラー反転
-MY : Y軸ミラー反転
- CL[length] : イメージの左側をクリッピングします。(1/100mm単位の値で指定)
-CR[length] : イメージの右側をクリッピングします。(1/100mm単位の値で指定)
-CT[length] : イメージの上側をクリッピングします。(1/100mm単位の値で指定)
-CB[length] : イメージの下側をクリッピングします。(1/100mm単位の値で指定)

◇ 用紙サイズの指定に関するもの

- P[paper] : 用紙サイズを番号で指定します。
0: A0横 1: A1横 2: A2横 3: A3横 4: A4横 5: A5横 6: A6横
20: A0縦 21: A1縦 22: A2縦 23: A3縦 24: A4縦 25: A5縦 26: A6縦
11: B1横 12: B2横 13: B3横 14: B4横 15: B5横
31: B1縦 32: B2縦 33: B3縦 34: B4縦 35: B5縦
- AR : イメージの向きに合わせて、-Pオプションで指定した用紙の向きを自動的に判断します。たとえば、イメージが縦長なら、-P4でも-P24でもA4縦の意味になります。
- AL : 出力サイズに合わせてセンタリングを行います。

◇ セキュリティの設定に関するもの

-DECRYPT : セキュリティが設定されていない状態で出力します。

-ENCRYPT : セキュリティが設定された状態で出力します。

・セキュリティを設定する出力属性ファイルの例

```
#####pdf_out. atr#####
PDF_SECURITY = 70          暗号化レベルの指定
PDF_SECURITY = 51          セキュリティの権限
PDF_SECURITY = 54          セキュリティの権限
PDF_USER_PWD = User Password ユーザーパスワード
PDF_OWNER_PWD = Owner Password オーナーパスワード
#####end pdf_out. atr#####
```

-PASSWORDS[*pswd_file*] : セキュリティを解除するためのパスワードを複数指定します。*pswd_file*はパスワードの情報を記述したファイルのファイル名です。

-TL[*tl_file*] : 閲覧制限の設定を行います。*tl_file*は設定する閲覧制限の情報を記述したファイル(閲覧制限設定ファイル)のファイル名です。

・閲覧制限設定ファイルの例

```
PERMIT_TERM = 2011/12/31      有効期限
PERMIT_PATH = http://www.kernelcomputer.co.jp/ 有効なURL
ALERT_MSG_TERM = 期限切れです 有効期限を満たさない場合に表示
ALERT_MSG_PATH = 場所が不正です 有効なURLを満たさない場合に表示
```

◇ 圧縮・展開に関するもの

-COMPRESS : データ中のイメージを除くストリームデータを圧縮します。

-DECOMPRESS : データ中のイメージを除くストリームデータを展開します。

◇ イメージの合成・抽出に関するもの

-IMG[*img_file*] : イメージの合成を行います。*img_file*は合成するテキストの情報を記述したファイル(イメージデータファイル)のファイル名です。

・イメージデータファイルの例

```
*GROUP          イメージデータ定義の開始
IMG_NAME = sample1.tif  イメージファイル名
ORG_X = 10.0        表示する位置x
ORG_Y = 15.0        表示する位置y
ALPHA = 128        透明度を指定
*END            イメージデータ定義の終了
*GROUP
IMG_NAME = sample2.png
ORG_X = 40.0
IMG_WIDTH = 20.0     表示する幅をmmで指定
IMG_HEIGHT = 15.0   表示する高さをmmで指定
IMG_THETA = 0.0     表示する回転角度
TRANS_RGB = ff0000  透明として扱う色を指定
*END
```

-IMX[*imx_file*] : イメージの抽出を行います。*imx_file*は合成するテキストの情報を記述したファイル(イメージ抽出設定ファイル)のファイル名です。抽出したイメージを保存するファイル名やフォーマットを設定します。また、PDFのページ上にイメージが表示される位置などの情報も取得できます。

◇ テキストの合成・抽出に関するもの

-TX[*text_file*] : 文字列(テキスト)の合成を行います。*text_file*は合成するテキストの情報を記述したファイル(テキストデータファイル)のファイル名です。

・テキストデータファイルの例

*GROUP	テキストデータ定義の開始
MOJI_WIDTH = 5.0	文字の幅をmmで指定
MOJI_HEIGHT = 4.0	文字の高さをmmで指定
MOJI_THETA = 0.0	文字の回転角度
TEXT = 横書きテキスト	テキスト
ORG_X = 10.0	テキスト開始位置x
ORG_Y = 15.0	テキスト開始位置y
MOJI_FONT_NAME = MS ゴシック	フォントを指定
FONT_MODE = 2	フォントを埋め込む
*END	テキストデータ定義の終了
*GROUP	
FONT_SIZE = 10.0	フォントのサイズをptで指定
TEXT = 縦書きテキスト	
ORG_X = 20.0	
ORG_Y = 30.0	
MOJI_FONT_NAME = @MS 明朝	フォントを指定(縦書き)
FONT_MODE = 1	フォントを埋め込まない
*END	

-TO[*textout_file*] : 文字列(テキスト)情報を取り出して、テキストファイルとして*textout_file*に出力します。テキストやテキストの位置などの取り出した情報の中から、結果のファイルに出力する情報を選択することが可能です。

・抽出結果の例1 テキストのみ出力する場合

Kernel Computer System
カーネルコンピュータシステム株式会社
⋮

・抽出結果の例2 テキスト、位置座標X、位置座標Y、文字の高さ、回転角度の順に情報を出力する場合

"Kernel Computer System", 46.19, 247.45, 3.18, 0.00
"カーネルコンピュータシステム株式会社", 46.19, 243.21, 3.18, 0.00
⋮

◇ しおりの設定・抽出に関するもの

-STX[*stx_file*] : しおりを設定します。*stx_file*は設定するしおりの情報を記述したファイル(しおり設定ファイル)のファイル名です。

・しおり設定ファイル(CSV形式)の例

1, 1, 1. はじめに
2, 1, 11. 実行例
5, 1, 111. 操作説明
5, 2, "◇ ""入出力ファイル指定""に関するもの"
6, 2, "◇ ""拡大, 縮小, 回転など""に関するもの"

-STCODE[*encode*] : しおり設定ファイルの文字コードを指定します。

0: EUC	1: シフトJIS	2: JIS
3: UTF-16(Big Endian)	4: UTF-8	5: UTF-16(Little Endian)
6: UTF-16(Big Endian BOM)	7: UTF-16(Little Endian BOM)	

-BMOUT[*csv_file*] : 入力ファイルのしおりの情報を取り出して、CSV形式で*csv_file*に出力します。

◇ 添付ファイルの操作に関するもの

- EFL[*efl_file*] : PDFにファイルを添付します。*efl_file*は添付するファイルの情報を記述したCSVファイル(添付用設定ファイル)のファイル名です。
・添付用設定ファイルの例

```
sample.jpg  
サンプル.TIFF  
""入出力ファイル指定""に関するもの.doc"  
""拡大,縮小,回転など""に関するもの.pdf"
```

- EFCODE[*encode*] : 添付用設定ファイルの文字コードを指定します。
0: EUC 1: シフトJIS
- EFX : PDFに添付されているファイルを抽出します。
- EFXDIR[*efx_dir*] : 抽出した添付ファイルを保存するディレクトリを指定します。

◇ バッチ処理に関するもの

- BATCH : バッチファイルを使って、複数ファイルを一括処理します。

◇ その他

- QS[*infile*] : 入力ファイルのプロパティ情報を取り出して、テキストデータとして *infile* に出力します。
infile を省略すると、情報の出力先は標準出力になります。
- MONO : PDFを単色に変換します。
色の名称またはRGB値で、変換する色を指定します。
- MONOMODE[*mode*] : -MONOオプションでPDFを単色に変換する方法を指定します。
- PDFWEB : PDFをリニアライズ(Web最適化)された状態で出力します。
- NOPROG : 処理の進行状況を示す「PDF/PDF変換処理 ???% 終了」という行を表示しません。
- NODISP : 実行時のメッセージを画面に表示しません。
ただし、Copyright文は表示されます。
- LOG[*log_file*] : ログファイルを作成します。
エラー発生時のみ作成されます。
- RIREKI[*r_file*] : 履歴ファイルを作成して変換結果についての情報を出力します。
- XMLRIREKI[*xml_rireki*] : XML形式の履歴ファイル名(***.XML)
変換結果のファイル情報をXML形式で履歴ファイルに出力(追加)します。
- XMLLOG[*xmllog_file*] : ログファイル名(***.XML)
変換結果をXML形式でログファイルへ出力します。
- EM[*email_file*] : メール送信用の環境設定ファイル名(初期値: eml_out.atr)
- MUTEX : 多重起動した場合、それぞれが並行して処理されます。
- MUTEX[*timeout*] : 多重起動した場合、他のプロセスが終了するまで待ってから処理されます。
- Q : ヘルプメッセージ
- QV : 実行ファイル名とバージョン情報を表示します。

操作例

例1 a.pdfファイルを出カファイル名b.pdfで出力

```
> PDFTOPDF a.pdf -Ob.pdf
Copyright (c) 2012 by Kernel Computer System Co.,Ltd. All rights reserved.
PDF (a.pdf) -> PDF (b.pdf) ファイル コンバータ

ただいま、ファイル変換中です。

PDF／PDF変換処理 100% 終了

PDFTOPDF 変換終了
```

例2 a.pdfファイルを90度回転して、出力ファイル名b.pdfで出力

```
> PDFTOPDF a.pdf -R90 -Ob.pdf
Copyright (c) 2012 by Kernel Computer System Co.,Ltd. All rights reserved.
PDF (a.pdf) -> PDF (b.pdf) ファイル コンバータ

ただいま、ファイル変換中です。

PDF／PDF変換処理 100% 終了

PDFTOPDF 変換終了
```

例3 a.pdfファイルは無条件に縦向きにして、出力ファイル名b.pdfで出力
(横向き図面は自動的に左方向に90度回転します。縦図面は回転しません。)

```
> PDFTOPDF a.pdf -Ob.pdf -RC
Copyright (c) 2012 by Kernel Computer System Co.,Ltd. All rights reserved.
PDF (a.pdf) -> PDF (b.pdf) ファイル コンバータ

ただいま、ファイル変換中です。

PDF／PDF変換処理 100% 終了

PDFTOPDF 変換終了
```

例4 a.pdfファイルとb.pdfファイルを結合して、出力ファイル名c.pdfで出力

```
> PDFTOPDF a.pdf b.pdf -Oc.pdf
Copyright (c) 2012 by Kernel Computer System Co.,Ltd. All rights reserved.
PDF (a.pdf) -> PDF (c.pdf) ファイル コンバータ

ただいま、ファイル変換中です。

PDF／PDF変換処理 100% 終了

PDFTOPDF 変換終了
```

例5 mglist.datの中で指定した複数のPDFファイルをabc.pdfの後に連結し、すべてのページをdef.pdfに出力

```
> PDFTOPDF abc.pdf -MG_LISTmglist.dat -Odef.pdf
Copyright (c) 2012 by Kernel Computer System Co.,Ltd. All rights reserved.
PDF (abc.pdf) -> PDF (def.pdf) ファイル コンバータ

ただいま、ファイル変換中です。

PDF／PDF変換処理 100% 終了

PDFTOPDF 変換終了
```

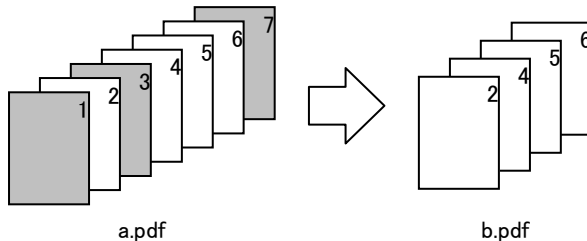
例6 マルチページファイルの2,4,5,6ページ目を抽出して別のマルチページファイルを作成

```
> PDFTOPDF a.pdf -N2,4-6 -Ob.pdf  
Copyright (c) 2012 by Kernel Computer System Co.,Ltd. All rights reserved.  
PDF (a.pdf) -> PDF (b.pdf) ファイル コンバータ
```

ただいま、ファイル変換中です。

PDF／PDF変換処理 100% 終了

PDFTOPDF 変換終了



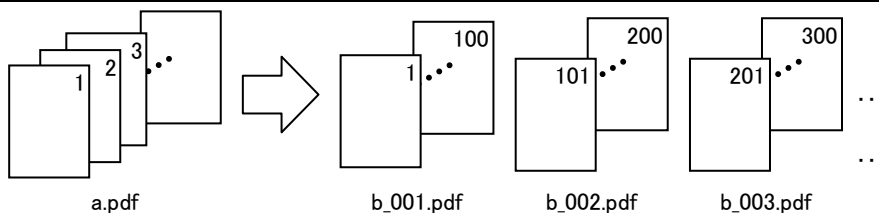
例7 大量のページを含むマルチページファイルを100ページごとに分割

```
> PDFTOPDF a.pdf -MFILE3,100 -Ob.pdf  
Copyright (c) 2012 by Kernel Computer System Co.,Ltd. All rights reserved.  
PDF (a.pdf) -> PDF (b.pdf) ファイル コンバータ
```

ただいま、ファイル変換中です。

PDF／PDF変換処理 100% 終了

PDFTOPDF 変換終了



例8 a.pdfファイルにセキュリティを設定して、出力ファイル名b.pdfで出力

```
> PDFTOPDF a.pdf -ENCRYPT -Ob.pdf  
Copyright (c) 2012 by Kernel Computer System Co.,Ltd. All rights reserved.  
PDF (a.pdf) -> PDF (b.pdf) ファイル コンバータ
```

ただいま、ファイル変換中です。

PDF／PDF変換処理 100% 終了

PDFTOPDF 変換終了

例9 a.pdfファイルにテキストを合成して、出力ファイル名b.pdfで出力

```
> PDFTOPDF a.pdf -TXtextdt.txt -Ob.pdf  
Copyright (c) 2012 by Kernel Computer System Co.,Ltd. All rights reserved.  
PDF (a.pdf) -> PDF (b.pdf) ファイル コンバータ
```

ただいま、ファイル変換中です。

PDF／PDF変換処理 100% 終了

PDFTOPDF 変換終了